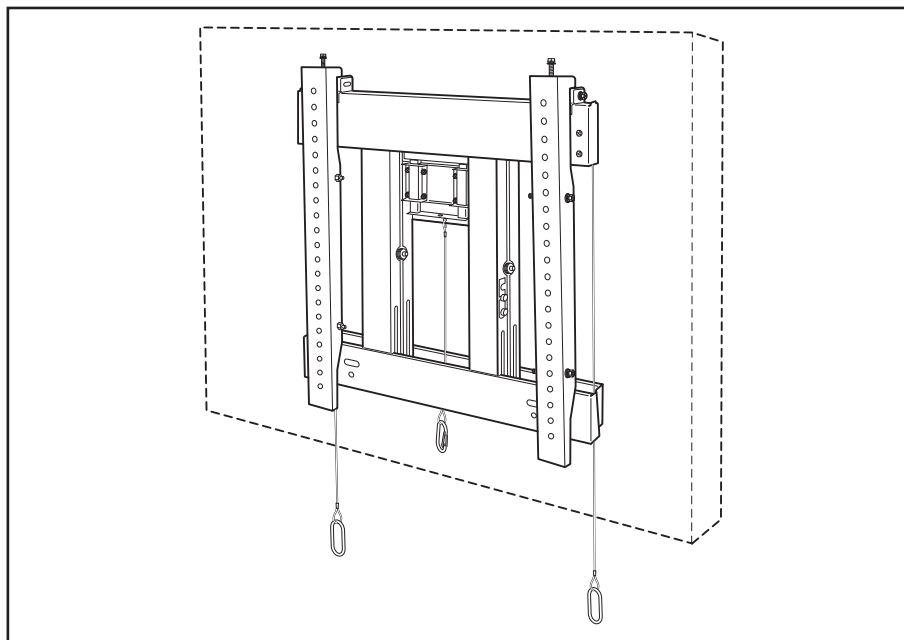


組立説明書

保管用

引出壁面ハンガー DHW-55



〈仕様〉

型名	ディスプレイ 最大積載質量	最大外形寸法	本体質量
DHW-55	50kg	W500×H575×D123 (引き出し時373) mm	17.3kg

当製品を正しくご使用いただくために、必ず組立説明書をお読みください。

また、この組立説明書は大切に保管してください。

なお、組立不良、取扱不備による事故、損傷については、当社は責任を負いませんのでご了承ください。

安全上のご注意

この組立説明書では安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するため、右記のような表示を行っておりますので内容をよく理解したうえで、本組立説明書をお読みください。



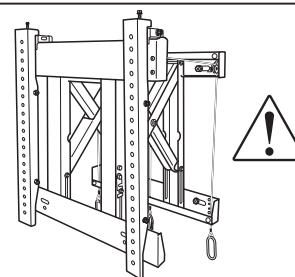
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

⚠警告 お取り扱いについて

- 取り付け作業およびメンテナンス時に本体を取り扱う際は、可動部に手や指を挟まないよう十分注意してください。
- 可動部の金具の分解はしないでください。
- 各ワイヤーの操作時は、本組立説明書内の注意事項をよく確認し、正しい方法でおこなってください。



組立前に

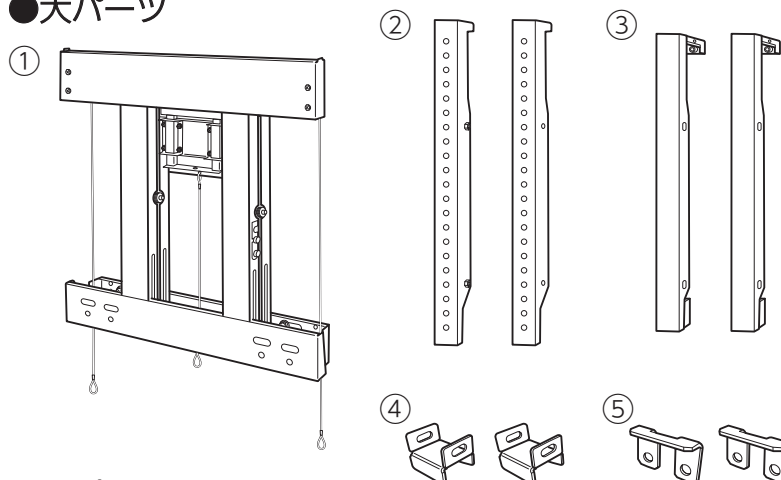
- パーツリストとパーツを照合し、不足のパーツがないか確認してください。
- それぞれのパーツは、正しい取付箇所、取付方向があります。
「組立・取付のしかた」をよく読んで、適切な箇所に適切な方法で組み込んでください。

⚠ 警告

- 当製品は、十分な技術、技能を有する取付工事専門業者が施工をおこなってください。
- 不完全な組み立ては、ハンガーおよびディスプレイの落下事故の原因となります。
それぞれのパーツのボルト類は完全に締め付けてください。
- ハンガー本体にディスプレイを取り付ける際は、必ず3人以上でおこない、ディスプレイを保持しながら慎重におこなってください。
- ディスプレイやハンガー本体につかまったり、ぶらさがったりしないでください。事故の原因となります。
- 子供による扱いは、決してしないでください。事故の原因となります。
- 表紙の仕様欄のディスプレイ最大積載質量は決して超えてはいけません。
- ハンガー本体の取付方向を誤ると、破損や事故の原因となります。

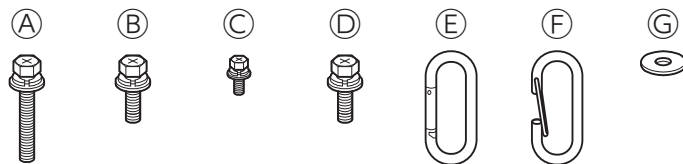
パーツリスト

● 大パーツ



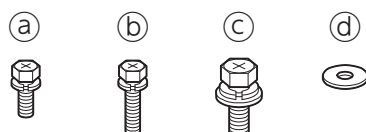
No.	大パーツ名	数
①	ハンガー本体	1
②	ディスプレイ取付金具	左右各1
③	引っ掛け金具	2
④	受け金具	2
⑤	ガイド金具	2

● 小パーツ



No.	小パーツ名	数
A	連結ボルト (M6×65)	4
B	連結ボルト (M6×30)	4
C	連結ボルト (M4×10)	4
D	位置調整ボルト (M6×30)	6
E	収納ワイヤー用リング	2
F	ロック解除ワイヤー用フック	1
G	平ワッシャー (M6用)	2

● ディスプレイ取付用ボルトセット



No.	ディスプレイ取付用ボルトセット	数
a	ディスプレイ取付ボルト (M6×14)	4
b	ディスプレイ取付ボルト (M6×20)	4
c	ディスプレイ取付ボルト (M8×20)	4
d	平ワッシャー (M6用)	4

⚠ 注意

ディスプレイの取付ボルトサイズはディスプレイメーカーにより様々です。ディスプレイメーカーの取扱説明書の指示に従い、設置上の安全性・吸気・排気等の諸条件を確認し、さらにお取り付けになる方が安全性を確認してから、本組立説明書に従い適切なボルト・ワッシャーを使用してお取り付けください。
尚、取付不備や本組立説明書の警告・注意を怠った場合の事故・損傷については、当社は責任を負いません。

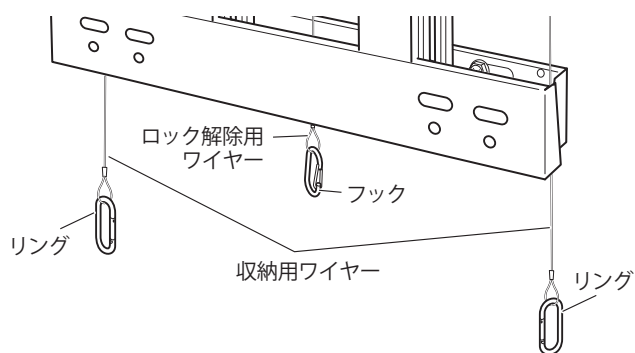
組立・取付のしかた

～壁面への設置の前に～

ハンガー本体の下から出ているワイヤーに製品付属のリングとフックを取り付けてください。

※出ている箇所のワイヤーにより、用途と取付箇所が異なりますので注意してください。

- 収納用ワイヤー左右2本：リング
- ロック解除用ワイヤー中央1本：フック



1 ハンガー本体の壁面への設置 (壁面には必ず4点で設置すること/作業は3人以上でおこなうこと)

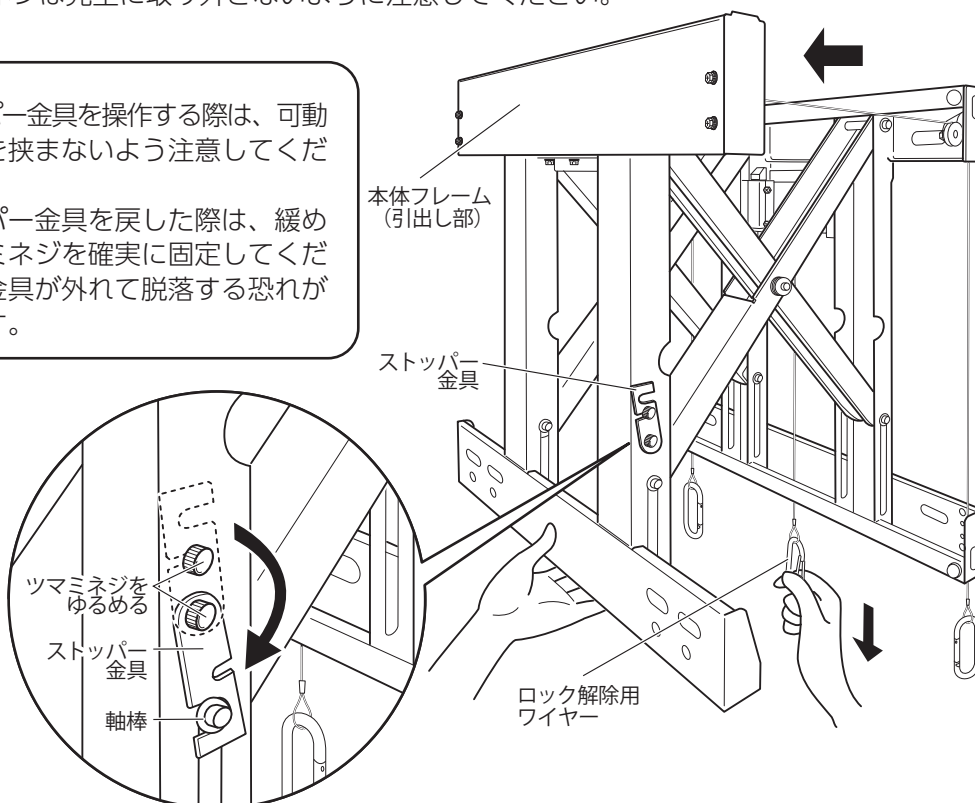
⚠注意

- ワイヤーを操作する際は過度な力で引かないでください。製品の破損やけがの原因となります。
- ディスプレイが載っていない状態で本体フレームを引き出すと、可動部が後方に元に戻る動きをしますので、ストッパー金具を引っ掛けるまでは手を離さないでください。
- ストッパー金具は必ず左右2箇所を引っ掛け、引き出し状態が維持されたことを確認してから手を離してください。

- ①ハンガー本体の中央下から出ているロック解除用ワイヤーを下方に引き、本体フレームを手前に引き出してください。完全に引き出した状態で、本体フレームの左右に付いているストッパー金具のツマミネジ各2点を緩め、ストッパー金具の切り欠きを本体フレームの軸棒に引っ掛けて、引き出し状態を維持してください。※ツマミネジは完全に取外さないように注意してください。

⚠注意

- ストッパー金具を操作する際は、可動部に指を挟まないよう注意してください。
- ストッパー金具を戻した際は、緩めたツマミネジを確実に固定してください。金具が外れて脱落する恐れがあります。



※ディスプレイを収納・着脱する場合

ディスプレイを収納する際はストッパー金具を元の位置に戻し、ツマミネジでしっかりと固定してください。また、メンテナンス時にディスプレイを着脱する際は、ストッパー金具を必ず使用し、引き出し状態が維持されたことを確認してから作業をおこなってください。

組立・取付のしかた

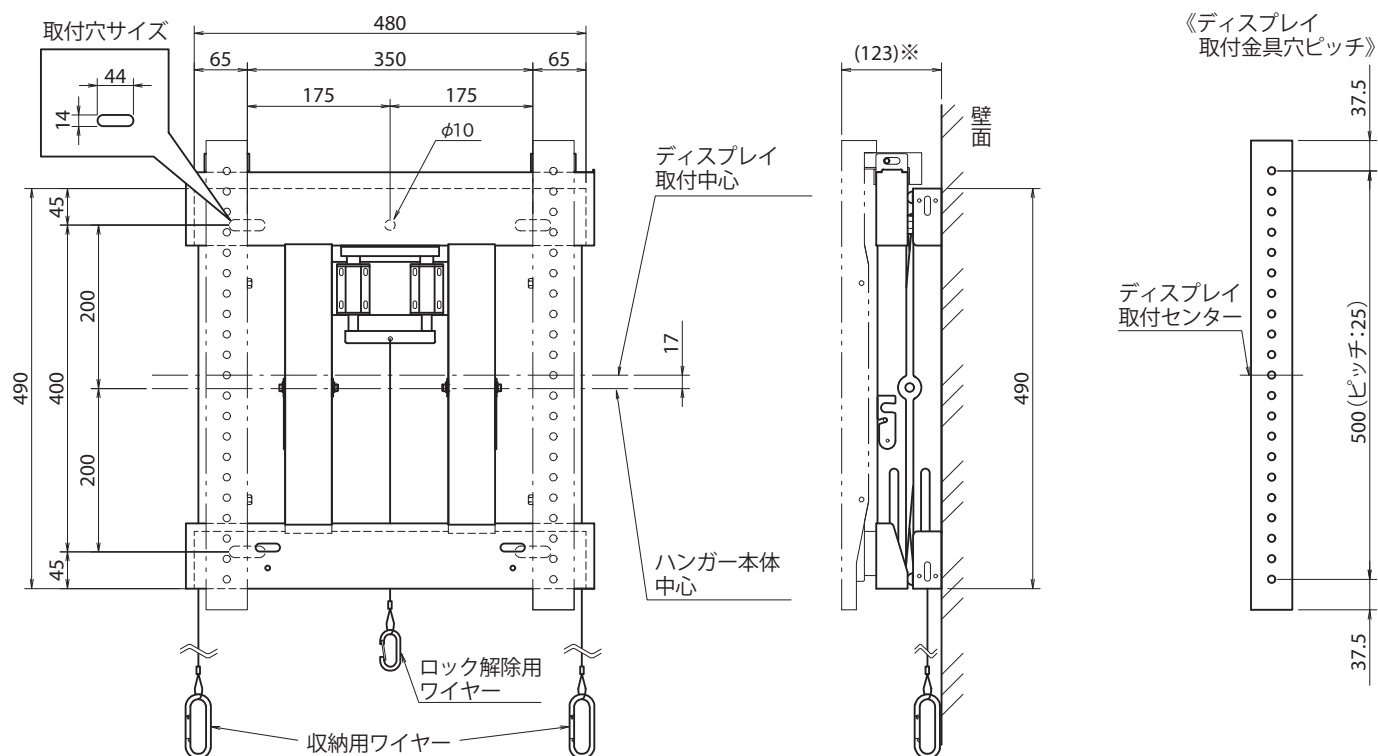
〈壁面への設置に関して〉

警告

- 取付工事は、取付工事専門業者に依頼してください。取付に不備がありますと落下事故の原因となります。
- 取付工事は、取り付ける構造体の構造・材質・強度を十分に確認し、最適な方法で確実にこなってください。
- 石膏ボードや薄い合板の壁面に直接設置しないでください。
- ハンガー本体を縦向きや上下誤った向きに取り付けしないでください。

■本製品はハンガー本体の上下中心位置に対し、ディスプレイ取付中心位置が17mm高くなる設定になっております。壁面に設置する際に、その分を考慮した上で取り付けをおこなってください。

- ②壁面にハンガー本体を4点止め(14×44取付穴)で取り付けてください。
取り付けの際は、ハンガー本体が水平・垂直になるよう注意しておこなってください。



※製品本体の奥行寸法について

本製品はパンタグラフ機構を用いたディスプレイの引き出し・収納が可能な製品の為、ディスプレイをハンガー本体に搭載すると可動部のクリアランス分多少前傾斜します。また、壁面へ施工する際のライナー等の使用を考慮すると、製品の基準奥行寸法は約123mmとなっておりますが、**「約5mm程度」余裕を持った寸法設定**をおこない、壁面埋込設置の際などは特に注意して施工をおこなってください。

組立・取付のしかた

〈マルチ設置時のワイヤーの通し方について〉

■本製品を多面設置する際、上段に設置したハンガー本体からの各ワイヤーは、別途ワイヤー等を連結し、下記のように製品本体へ通してください。

●収納用ワイヤー (左右2本)

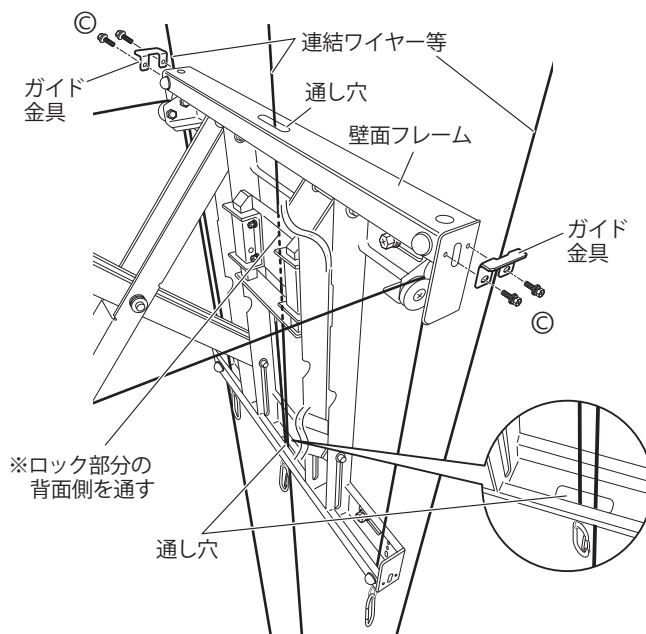
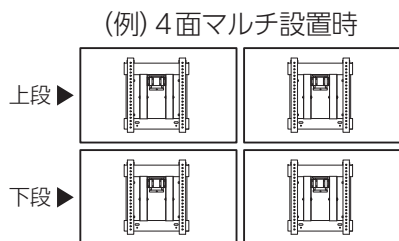
下段の壁面フレームの左右に連結ワイヤー等を這わせ、ガイド金具の切り欠き部にそのワイヤー等が通るようにして、連結ボルト◎で壁面フレームに取り付けてください。

●ロック解除用ワイヤー (中央1本)

下段の壁面フレームの上部中央にある穴に連結ワイヤー等を差し込み、**ロック部分の背面側を通して**壁面フレームの下部中央にある穴に差し込んでください。

⚠注意

ディスプレイ収納やロック解除のワイヤー操作をした際に、ワイヤー自体や先端のリング・フック等がハンガー本体の可動部やガイド金具に干渉したり挟み込まれていないかを十分に確認しながら作業をおこなってください。



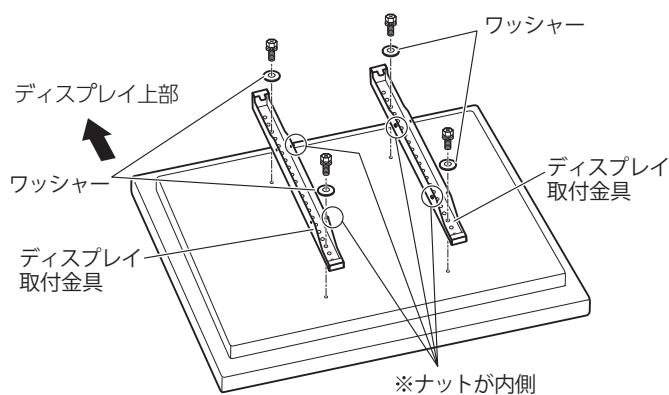
2 ディスプレイ取付金具のディスプレイへの取付

①図のようにディスプレイの背面取付穴に上下方向を間違えないようにディスプレイ取付金具の穴を合わせ、ディスプレイ取付ボルトセットの中から最適なボルトを選び、確実に締め付けて固定してください。

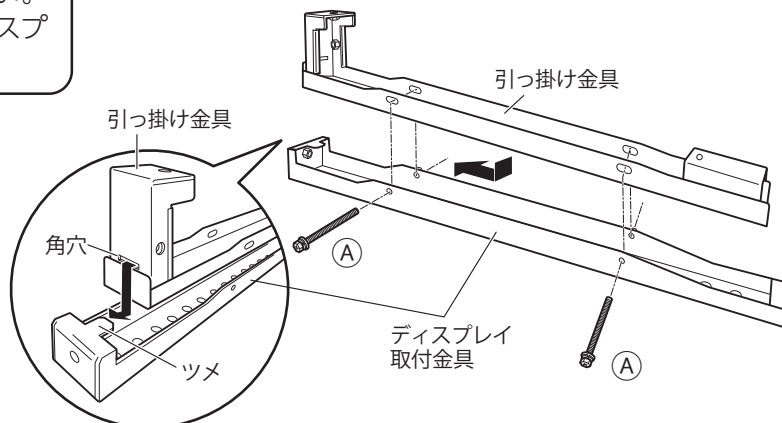
※ディスプレイ取付金具には左右方向がありますので**金具側面のナットがそれぞれ内側になるよう**に取り付けてください。

⚠警告

M6のボルトを使用する際は必ずボルトにワッシャー④をセットしてからお使いください。ワッシャーの取り付けを忘れずと、ディスプレイの落下や破損などの原因となります。

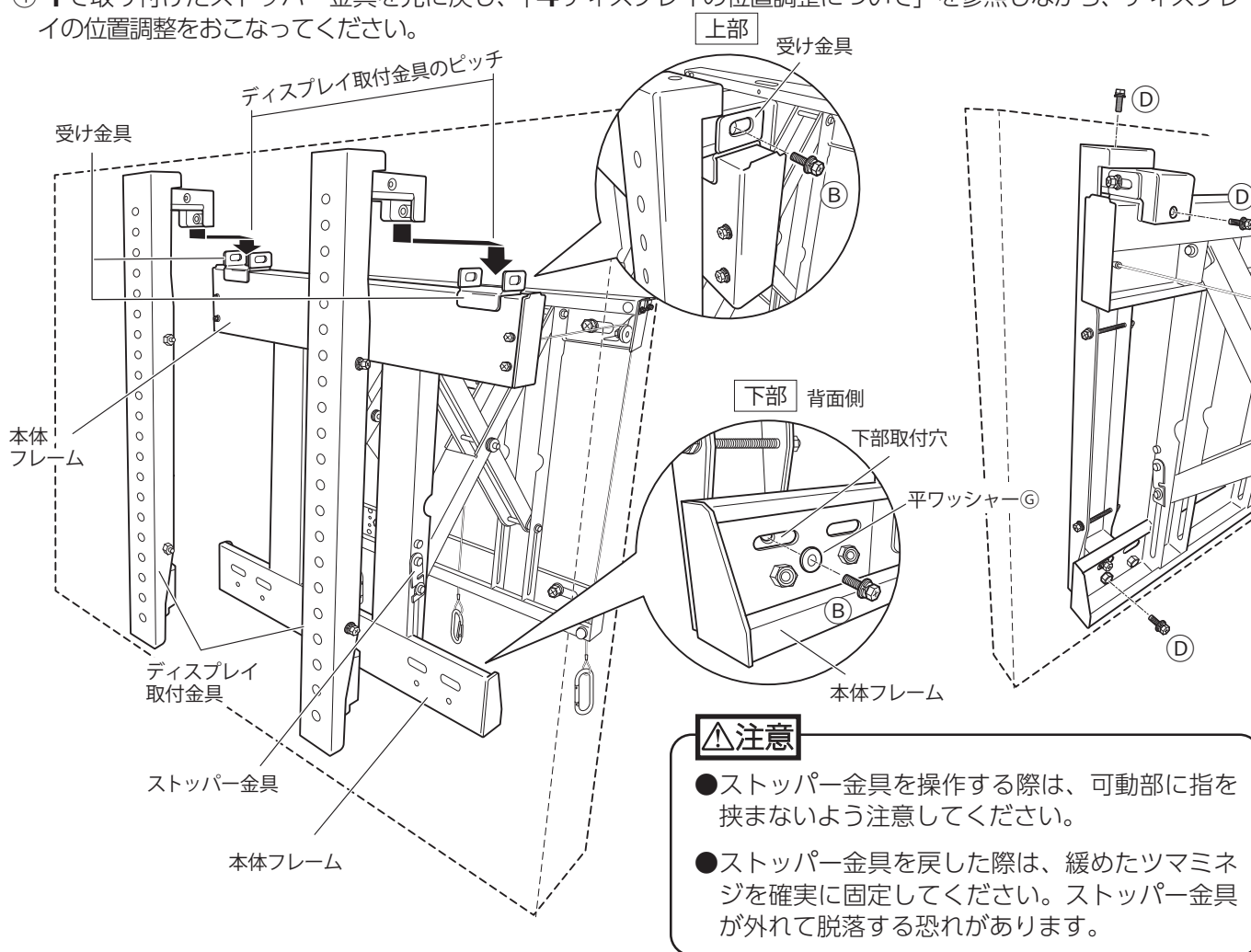


②ディスプレイ取付金具の上部ツメが、引っ掛け金具の角穴に奥まで差し込まれるようにそれぞれの金具を合わせ、ディスプレイ取付金具の側面 (ナットが付いていない面) 側から連結ボルトⒶを貫通させ、しっかりと固定してください。



3 ディスプレイのハンガー本体への取付 (必ず3人以上でおこなうこと)

- ②でディスプレイ背面に取り付けたディスプレイ取付金具のピッチに合わせて、本体フレームの上部に受け金具を載せてください。
- ②ディスプレイ取付金具を受け金具に慎重に引っ掛け、金具の上部を受け金具と、下部は本体フレームと、それぞれ連結ボルト⑧で固定してください。この際、**ディスプレイ取付金具が本体フレーム下部取付穴の中心にくるように固定してください。**
※下部を連結ボルト⑧で固定する際は必ず平ワッシャー⑥を取り付けてください。
- ③位置調整ボルト⑩を図のように「上部」と「下部」それぞれに手で取り付けてください。
(調整用ですので、この時点では締め込まないこと。)
- ④1で取り付けたストッパー金具を元に戻し、「4 ディスプレイの位置調整について」を参照しながら、ディスプレイの位置調整をおこなってください。



4 ディスプレイの位置調整について (3人以上でおこなうこと)

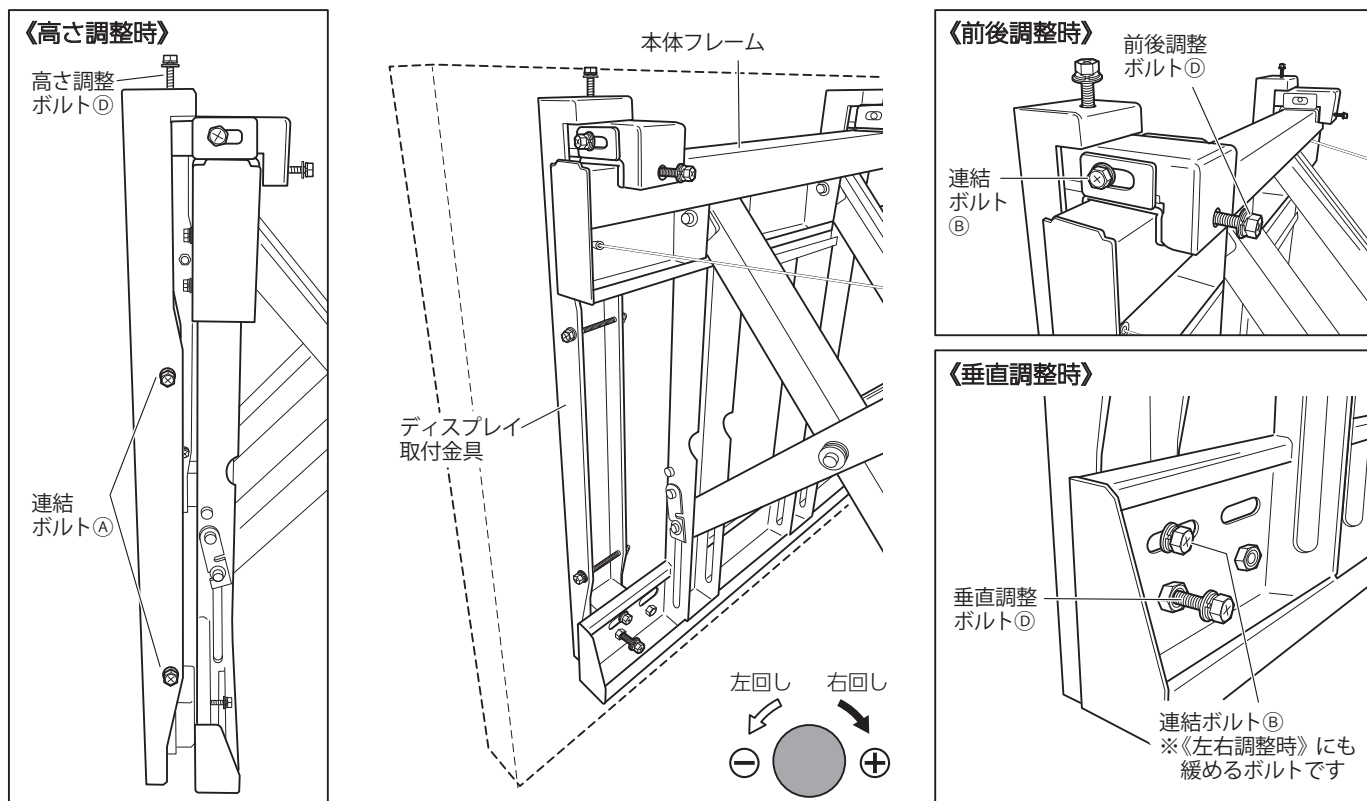
△注意

- ディスプレイを調整する際、調整幅を超えますと、金具が破損してディスプレイやパーツが落下する恐れがあります。また、各調整ボルトは微調整をおこなうものですので、大幅な調整や偏った調整はおこなわないでください。
- ディスプレイの位置調整時や本体フレームの引出し・収納時は、手やケーブルなどを挟んだり、ディスプレイ同士がぶつからないようご注意ください。
- 接し合うディスプレイとの隙間は**最低1mm以上**あけて調整をおこなってください。隙間がないと、本体フレームの引出し・収納時にディスプレイ同士が干渉して破損の原因になります。

組立・取付のしかた

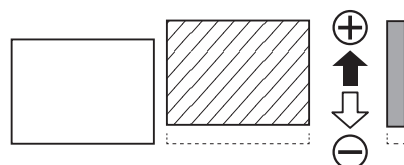
■ディスプレイの位置調整をおこなう際は、**ストッパー金具を使用し**、引き出し状態を維持しながらおこなってください。

■位置調整の間にディスプレイの引出し・収納操作が必要になりますので、次ページ「**5**ディスプレイの引出し・収納操作について」をよく参照し、内容を理解した上で正しい方法で操作をおこなってください。



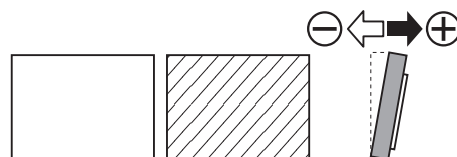
《ディスプレイの高さ調整》

- ①ディスプレイ取付金具側面の連結ボルト④を緩め、高さ調整用ボルト①を回すことでディスプレイを上に出すことができます。
(調整幅：+に10mm) ※最初に設置した位置からは下がりません。
- ②高さ調整後、ディスプレイ取付金具側面の連結ボルト④を締め付けて固定してください。



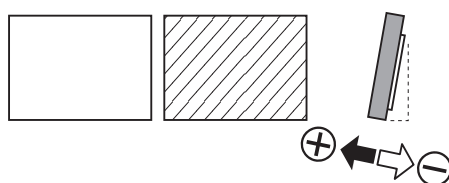
《ディスプレイ上部の前後調整》

- ①受け金具に固定している連結ボルト③を緩め、前後調整用ボルト②を回すことでディスプレイを後方に寄せることができます。
(調整幅：+に10mm) ※最初に設置した位置からは前方に動きません。
- ②前後調整後、受け金具の連結ボルト③を締め付けて固定してください。



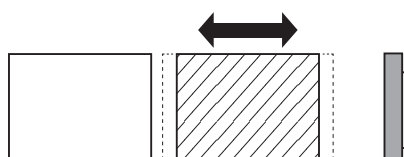
《ディスプレイの垂直調整》

- ①本体フレーム下部で固定している連結ボルト⑥を緩め、垂直調整用ボルト⑤を回すことでディスプレイの垂直レベルを調整できます。
(調整幅：+に10mm) ※最初に設置した位置からは後方に動きません。
- ②垂直調整後、本体フレーム下部の連結ボルト⑥を締め付けて固定してください。



《ディスプレイの左右調整》

- ①本体フレーム下部で固定している連結ボルト⑥を緩め、ディスプレイを受け金具ごと左右に動かすことができます。(調整幅：左右に10mmずつ)
- ②左右調整後、本体フレーム下部の連結ボルト⑥を締め付けて固定してください。



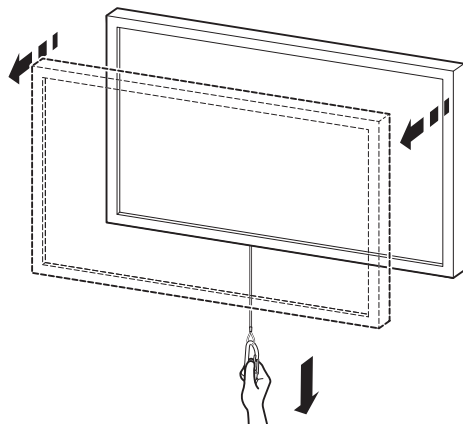
5 ディスプレイの引出し・収納操作について

△注意

- ワイヤーを操作する際は、過度な力で引かないでください。製品の破損やけがの原因となります。
- 引出し・収納時は、手やケーブルなどを挟んだり、隣接するディスプレイ同士がぶつからないようにご注意ください。
- 引出し時は、ディスプレイに手を添えて慎重におこなってください。
- 収納時は、左右のワイヤーをバランスよく引いてください。偏った引き方をすると、収納されなかったり、製品の破損の原因となります。
- 収納後、本体フレームが確実にロックされたかを十分確認し、ロックが不完全な場合は一度ロック解除用ワイヤーを引いてディスプレイを手前に引き出し、再度収納操作をおこなってください。

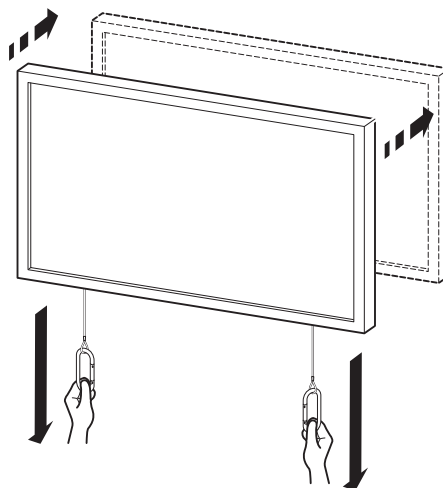
引出し操作

- ハンガー本体の下から出ている**中央のワイヤー**を下に引いてロックを解除し、ディスプレイを手で慎重に手前に引き出してください。



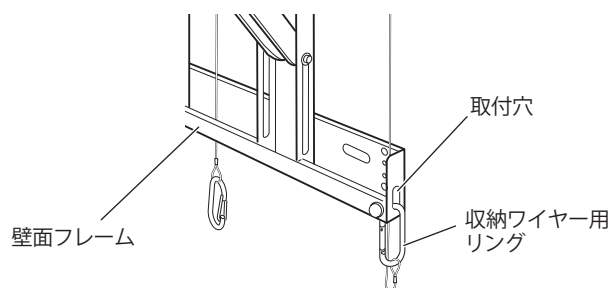
収納操作

- ハンガー本体の下から出ている**左右のワイヤー2本**を同時にバランスよく下に引いてディスプレイを収納してください。本体フレームが壁面フレーム側に確実にロックされるまで引き込んでください。



■収納ワイヤー用リングについて

収納ワイヤー用リングは壁面フレーム側面の穴に引っ掛けることができますので、収納時など必要に応じて取り付けてください。



*仕様・外観は予告なく変更することがございますのでご了承ください。

販売店名

株式会社 共栄商事

- お問い合わせは各営業所まで.....
- 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-17-7 ☎ 03-3719-2411 FAX 03-3719-2882
- 〒003-0806 札幌市白石区菊水6条2-6-30 2F ☎ 011-824-2811 FAX 011-824-2812
- 〒980-0011 仙台市青葉区上杉4-5-22 ☎ 022-263-0963 FAX 022-263-0910
- 〒464-0858 名古屋市千種区千種3-30-20 柴田ビル ☎ 052-732-7441 FAX 052-732-7477
- 〒540-0021 大阪市中央区大手道2-2-13 2F ☎ 06-6946-1421 FAX 06-6946-1435
- 〒730-0051 広島市中区大手町3-9-13 松永ビル ☎ 082-541-5321 FAX 082-541-5325
- 〒812-0015 福岡市博多区山王1-8-35 岩瀬ビル ☎ 092-472-3865 FAX 092-472-3866

●本 社
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-17-7